

叙勲瑞宝単光章を岡田一昭さんが授章

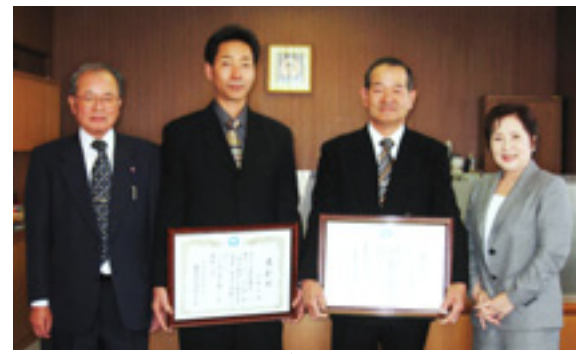


▲深い知識と行動力が住民から深く敬愛されました

岡田一昭さん(二子)は、播磨町消防団二子分団に入団以来、38年間の永きにわたり団員の育成、組織の強化に尽力されました。重いポンプを押しつけて現場に駆けつけていた消防団活動に小型動力ポンプ付積載車を整備し、播磨分署の設置の必要性を説いてこれを実現させるなど、消防団の近代化と広域消防体制の整備に奔走されました。郷土防炎に尽くした多くの功績に対し、瑞宝単光章が贈られました。

平成19年播磨町技能職者表彰

播磨町では、優秀な技能を有し、かつ、永年にわたりその技術が必要とする職業に従事して地域社会の発展に貢献された方をたたえるために、技能職者表彰を行っています。



▲確かな技術でご活躍されています

伊藤 渉さん(北本庄) 美容師
美容師国家試験技術委員を務め、全日本美容師会にレベルアップにも貢献されています。また、美容技術研究会の講師を務められるなど、意欲的な姿勢が評価されました。

馬場 安生さん(東野添) 建築大工
高度な木材加工技術を習得され、建築大工として伝統木造住宅の建築に従事されてきました。習得した技術を後継者育成に活かされるなどの活動が評価されました。

松田 康嗣さん(本庄) 畳製造職人
鶴林寺をはじめ、播磨町内ほとんどの神社や寺の畳を任せられるなど、永年培ってきた技術を遺憾なく発揮され、後継者育成にも力を注がれるなどの活動が評価されました。

兵庫県ともしびの賞を村津雅夫さんが受賞

ともしびの賞は、郷土の研究や承継に関する文化活動を長年続けられ、その功績がすぐれている人に贈られる賞です。このたび、播磨町の郷土史研究に努め、多数の著書などを編纂さんされている村津雅夫さん(北本庄)が受賞されました。



兵庫県「このとり賞」8人、みどりの章1団体が受賞

「このとり賞」は、「この豊かな美しい兵庫」の実現に貢献した個人に、みどりの章は花と緑あふれる美しい県土づくりの推進に貢献した個人や団体に兵庫県知事から贈られる賞です。

- 【このとり賞】加藤 佳子さん(北本庄) 神吉 英子さん(本庄)
小西 邦和さん(南大中) 澤田 晃子さん(北野添) 下出 章さん(北野添)
福壽 幸子さん(二子) 平郡 かよ子さん(北本庄) 森野 六男さん(西野添)
【みどりの章】こごぶき大学園芸クラブ

兵庫県自治賞の表彰が行われました

兵庫県自治賞は、自治の精神に基づき、明るく住みよい地域づくりに貢献した人に対して兵庫県知事から贈られる表彰です。播磨町から次の4人の方が受賞されました。

- 岩崎 久一さん(上野添) 草部 芳彦さん(上野添)
籠谷 順子さん(南大中) 山本年 孝さん(宮北)

レクリエーション運動普及振興功労者表彰を塩沢岩光さんが受賞

長年、NPO法人兵庫県レクリエーション協会の役員を務めるなど、県内にレクリエーション運動を普及振興した塩沢岩光さん(本庄)が、(財)日本レクリエーション協会の「レクリエーション運動普及振興功労者表彰」を受賞しました。



東播磨ふれあいネット (BAN-BANテレビ 11チャンネル)
播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

1月の放送予定 (収録場所 加古川市)

前半 1月7日(月)~20日(日)

- 特集 いきいきセミナーに参加してみませんか(稲美町)
- ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)

後半 1月21日(月)~2月3日(日)

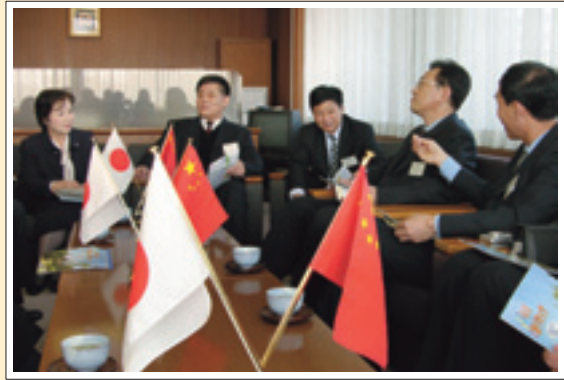
- 特集 子育て支援センター~つどいの広場(高砂市)
- レポーター募集のお知らせ

放送時間(第1・3月曜日の①以外は再放送) 30分番組

- 月・水・金 ①午前10時 ②午後5時 ③午後10時
火・木 ①正午 ②午後7時
土・日 ①午前9時 ②午後6時 ③午後11時

いいね!
はりま

町政
レポート
No.12



▲中国からのお客様と

◆10月、11月は東京への出張が多い月でした。播磨臨海道路網、水田川の整備などで国交省、財務省や国会議員会館などへの陳情や全国大会出席が相次ぎました。地方自治体の事業においては、国の補助金は大きな鍵となります。

今回は時間の関係から、初めて飛行機を利用し、空から播磨町の夜景を目にしました。神戸空港に着陸するには西の方から進入しますが、旋回後、翼の下に明石大橋を確認、新島も含めてこの地域のキラキラ輝く街の灯りに、播磨地域の「元気」を垣間見たような気がしました。

◆12月5日、天津和平区から訪問団が来庁されました。和平区は天津市のほぼ真ん中に位置し、政治、経済、商業、金融、文化などの中心地となっています。面積は10km²で播磨町とほぼ同じですが、人口は約50万人ということで、役所のまわりも神戸や大阪の繁華街のような雰囲気らしく、播磨町は静かで落ち着いた町という印象を話されました。交流会では、播磨町の名誉町民である田中松太郎元町長から、調印に至る経緯や平成5年友好提携調印後の交流の歴史が語られました。新幹線が完成すれば北京から30分ということ、より近くなりそうです。(再見)

◆12月5日にことぶき大学の大学祭が開催されました。皆さんとても若々しくてお元気なのに、びっくりしました。「歴史カルタ」はよく調べていらっやって私も勉強になりました。応援歌「六甲おろし」を熱唱されるパワーには敬服。思わず一緒に口ずさんでしまいました。ジャズダンスは、まさに若者顔負けの「かっこよさ」でした。全員で合唱された「この道を行く」の歌にも心打たれるものがありました。他の公務がなければ最後まで見せていただきたかったのですが…。人生の先輩たちから元気と勇気をいただきました。

播磨町長 清水ひろ子

わんぱくはりまっ子



いちむら ひな
市村 日菜ちゃん(2歳)
野添
元気いっぱい育ててね
父、母より



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話をお願いします。

楽屋裏

新年こそ、新年こそ…みんながあつと驚くような変身をして、みんなに「いいね!」と言われた。私のことではなく広報はりまのことです。少しずつ進化したか?と思っています。

その試みの一つとして今月の広報はりまは、新しいことにチャレンジしてみました。14~15ページの間に保存版①④を閉じ込んでみたのですが、お気付きですか? 金具を外して一枚のチラシとして保管したり、冷蔵庫や机のマットなどいつでも見ることが出来る場所に貼っておいたりできます。「長期間活用してほしい情報を、チラシではなく広報はりまの中に閉じ込めることができないだろうか?」という発想が、今回の試みのきっかけです。

今後、このようなページを作っていくか、従来通り別刷りチラシを挟み込んでお届けするのかは、分かりませんが「閉じ込み保存版ページ」をどう思われたでしょうか? 気になります。

親子で楽しむ町内の文化財 パートII

10本荘の清澄稲荷大明神きよすみ

今月は本荘の阿閉神社のすぐ東にある清澄稲荷大明神を紹介します。阿閉神社の東には、地域の方に守られてきた一つのお稲荷さんがおられます。ここのお稲荷さんの特徴は、赤い鳥居が、列をなして神の世界へと誘っている点です。



▲一瞬どこまで続くのかと錯覚するほどみごと



【クイズ】
この赤い鳥居の数はいくつあると思いますか。

- ① 28基
- ② 37基
- ③ 46基

「歴史の宝宝箱」と言われている播磨町。町の面積は狭いけど、文化財の数は多く、少し歩けばそこかしこに、地域の人びとが昔から大切に受け継いできたものがあります。そのような街角の文化財を紹介していきます。

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079(435)5000

本荘の阿閉神社の東を回る道に沿って歩くと、一本の高いクスノキと低い木々とでつくる繁みの中に、赤いものがちらりと見えてきます。よく見ると、鳥居です。それもあざやかな赤色のためか、緑の繁みに映えて、神々しく見えます。左手に「お百度石」を確かめ、いよいよお参りにと正面に立つと、規則正しく46基の鳥居が並んでいて、「赤色の神の世界」が、奥の社殿に誘っています。

さて、なぜお稲荷さんには、赤い鳥居がこれほど多くつくられるのでしょうか。それは、願いがかなうと、お礼に赤い鳥居をつくる習慣があるからです。ここのお稲荷さんは、江戸時代の終わりごろ、近隣の商人によってつくられ、鳥居が増えていったといわれています。そのためか、赤い鳥居には、奉納された近隣の会社の名が多く書かれています。

ただ、この鳥居は新しくして、同じ時期のものばかりだと一目見て分かるでしょう。実は、この鳥居は、平成16年の台風で激しく傷んでしまいました。それを地域の人びとが努力して、今の鳥居にと付け替えられました。だから、同じ時期の鳥居となったわけです。

今も地域の方がしっかりと支えておられるこのお稲荷さん。お参りに来られる人びとには、心のゆとりを育み、豊かな一日を約束されているように思われます。



●クイズの答 ③ 46基



町の人口 12月1日現在 (住民基本台帳人口+外国籍人口)
34,397人(+36人) 男...16,852人(+19人) 世帯数...13,326(+41)
女...17,545人(+17人)